

博士前期課程

■募集人数

修業年限	募集定員
2年（長期履修制度有）	6名

■取得学位：修士（看護学）

■試験の種類・試験科目・配点

一般選抜入学試験	
試験科目	配点
英語	50点
看護専門科目	50点
面接	100点

社会人選抜入学試験	
試験科目	配点
小論文	100点
面接	100点

※英語：看護に関する英文和訳（辞書持ち込み可）

※看護専門科目：看護学全般の基礎知識を問う

※小論文：看護に関する知識や考え方を問う

■出願資格・入学者の選抜方法

出願資格
下記の①から④のいずれかに該当する者
①看護系大学を卒業した者（卒業見込みの者を含む）で、看護師の免許を有する者
②看護系以外の大学を卒業した者（卒業見込みの者を含む）で、看護師の免許を有する者
③看護系大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者※
④外国において学校教育における16年の課程を修了した者（修了見込みの者を含む）で、看護師免許を有する者
※社会人選抜試験の出願資格は、上記①から④のいずれかに該当し、看護職者として3年以上の実務経験が必要です。
※上記③に該当する者は、看護系短期大学、専修学校、各種学校を卒業し、3年以上の看護職者としての実務経験を有するものです。次の書類を提出し、出願前に出願資格認定の審査が必要です。
①出願資格認定審査申請書
②最終学校の卒業証明書
※上記④により出願しようとする者は、必ず出願前に大学院入学センターまでご相談ください。

■試験日程

項目	I期
出願資格認定審査	2021年8月2日(月)～8月17日(火) 必着
出願期間	2021年8月18日(水)～9月8日(水) 必着
試験日	2021年9月11日(土)
合格発表日	2021年9月19日(日)
項目	II期
出願資格認定審査	2021年11月22日(月)～12月7日(火) 必着
出願期間	2021年12月8日(水)～2022年1月26日(水) 必着
試験日	2022年1月30日(日)
合格発表日	2022年2月6日(日)
項目	III期
出願資格認定審査	2021年12月8日(水)～2022年1月26日(水) 必着
出願期間	2022年1月27日(木)～2月17日(木) 必着
試験日	2022年2月20日(日)
合格発表日	2022年2月27日(日)

■学費等

※入学金は初年度のみ納入となります
※本学の卒業生は、入学金全額免除となります。

入学金	200,000円
授業料	550,000円
施設設備費	150,000円
合計	900,000円

■試験会場：本学

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2

博士後期課程

■募集人数

修業年限	募集定員
3年（長期履修制度有）	3名

■取得学位：博士（看護学）

■試験の種類・試験科目・配点

試験科目	配点
小論文	50点
英語	50点
面接	100点

※小論文：専門知識に関する論述

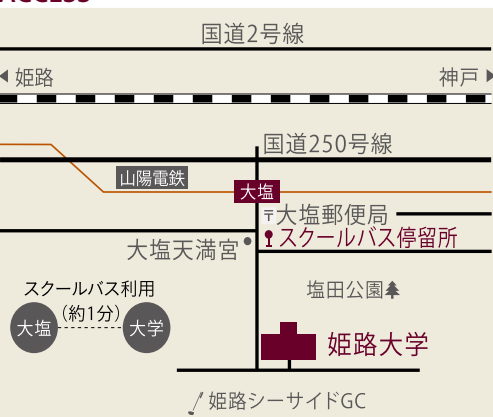
※英語：英文和訳（辞書持ち込み可）

筆記試験（小論文・英語）、面接及び出願書類（教育研究業績書、研究計画書）の内容を総合的に評価する。

■出願資格・入学者の選抜方法

出願資格
下記の①から④のいずれかに該当する者
①修士の学位または専門職学位を有する者（入学前年度までに取得見込みの者を含む）
②外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を有する者（入学前年度までに取得見込みの者を含む）
③我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を有する者（入学前年度までに取得見込みの者を含む）
④修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
※上記②から④に該当する者は、次の書類を提出し、出願前に出願資格認定の審査が必要です。
①出願資格認定審査申請書
②志願理由書
③最終学校の卒業（修了）証明書
④教育研究業績書

■ACCESS



姫路大学の最寄り駅は山陽電鉄「大塩」駅です。

山陽電鉄「大塩」駅下車、スクールバス（無料）で約1分（徒歩約10分）。

※山陽電鉄「大塩」駅へは「山陽姫路」駅より直通特急で約10分。山陽電鉄「明石」駅より約20分。

駐車場有り。

お問い合わせ先・募集要項請求先

姫路大学大学院 入学センター

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2
TEL 079-247-7306 FAX 079-247-7316
E-mail:nyushi@koutoku.ac.jp

Graduate School of Himeji University

Master of Nursing Science

Doctor of Philosophy in Nursing Science



2022年度 姫路大学大学院

看護学研究科

博士前期課程 博士後期課程

博士前期課程

教育目的

人間に対する深い洞察力と高い倫理観をもち、看護の理論と科学的な根拠に基づき、個々のニーズや生活及び社会の変化から生じる健康課題を明らかにしたうえで、その課題を解決できる能力をもち、人々の生活の場や看護実践の場において、教育力、指導力、研究能力を兼ね備えた社会に貢献できる高度な看護実践専門職業人を育成する。

教育目標

- ①人間に対する深い洞察力と高い倫理観をもち、人々の健康課題を科学的に探究できる研究能力を身につける。
- ②明確化された健康課題を理論的・科学的に探究し、看護実践やケアの場における支援方法を考究できる能力を身につける。
- ③看護実践やケアの場において対象や看護職者を含む専門職者に対して教育力や指導力を発揮することで、看護実践の質の向上に貢献できる能力を身につける。

専門分野

看護教育・看護管理学分野

看護基礎教育・看護継続教育及び対象へのより良い教育介入に向け看護教育の本質を探究し、実践の場における他職種者との連携・協働を含めた看護支援法や教育力を育成する教授法について考究する。さらに、看護管理のあり方やマネジメントについての実践力を修得する。

成人・高齢者看護学分野

成人及び高齢者やその家族の健康とQOLに関する諸理論や概念を学修し、対象理解を深め、健康課題解決方法や看護のあり方を学修する。特に、がん患者への支援や高齢者への誤嚥性肺炎予防について、科学的根拠と最新の知見を基に支援のための実践力を修得する。

障害児・者支援分野

発達障害及び心身障害研究について最近の動向や知見、障害の定義や病態などを学修する。また、障害児・者の生活状況から問題・課題を見だし、健康生活やQOLを向上するための支援方法や、医学、看護、福祉、教育との連携などについて探究し実践力を修得する。

地域看護学分野

国内外の地域看護活動の発展の歴史から、その概念や理論的根拠を理解し、地域の人々の健康ニーズを包括的に探究する。また、対象の発達段階や健康レベルに応じた看護実践方法を学修し、正確な情報収集能力、分析力、より高度で専門的なアプローチ力を修得する。

修了要件及び履修方法

共通科目10単位、専門基礎科目6単位以上を修得します。専門科目の選択する分野の特論2単位・演習4単位・特別研究8単位、選択分野以外の特論2単位の合計16単位以上を履修し、合計32単位以上を修得します。さらに必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、本大学院が行う修士論文審査及び最終試験（口頭試問）に合格し、修了となります。

社会人に配慮した時間割と教育・研究環境

- 働きながら学びたいという方の希望に応えるため、講義時間は平日の夜間と土曜日などとし、教員と相談の上決めることができます。
- 働きながら学べる環境として、講義はインターネットを利用して自宅や職場で受講することができます。
- 学外からデータベース、電子ジャーナル、電子書籍をいつでも見ることができます。
- 修業年限は2年間ですが、長期履修制度を利用すると3年を限度として延長することができます。この場合でも授業料は2年間分となります。
- 院生が研究活動を行う際、必要な経費を補助します。

博士後期課程

教育目的

人間に関する高い学識をもち、人々の健康と生活の支援を科学的に探究し、その支援の考究を自立して行うことができ、看護学の発展に寄与できる教育・研究者を育成することを目的とする。

教育目標

- 人間に関する高い学識をもち、人々の支援を科学的に探究でき、看護学の発展に寄与できる看護教育・研究者として以下の3つの能力を身につけることを目標とする。
- ①人々の健康と生活の支援を科学的に探究できる。
 - ②看護学の発展のための研究を自立して行うことができる。
 - ③次世代の看護職を育てる教育・研究ができる。

専門分野

成人・高齢者看護学分野

がん患者及び高齢者に対する療養生活支援及び緩和ケアに関する国内外の研究動向を広く検討する。エンドオブライフにおける倫理的課題やがん患者及び高齢者とその家族の健康や生活の課題について考究し、支援方策について研究する。研究成果を博士論文としてまとめることで自立して研究ができる能力を養う。

障害児・者支援学分野

障害児・者支援研究に関する国内外の知見や最近の動向について広く検討する。重症心身障害児・者、発達障害児・者、および重度障害のある新生児とその家族の人権、健康、生活課題について考究し、支援方策について研究する。研究成果を博士論文としてまとめることで自立して研究ができる能力を養う。

修了要件及び履修方法

共通科目の必修科目6単位、専門科目から研究課題に応じた選択科目6単位（特論2単位、特別研究4単位）の合計12単位を修得します。さらに必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、本大学院が行う博士論文審査及び最終試験（口頭試問）に合格し、修了となります。

社会人に配慮した時間割と教育・研究環境

- 働きながら学びたいという方の希望に応えるため、講義時間は平日の夜間と土曜日などとし、教員と相談の上決めることができます。
- 働きながら学べる環境として、講義はインターネットを利用して自宅や職場で受講することができます。
- 学外からデータベース、電子ジャーナル、電子書籍をいつでも見ることができます。
- 修業年限は3年間ですが、長期履修制度を利用すると4年を限度として延長することができます。この場合でも授業料は3年間分となります。
- 院生が研究活動を行う際、必要な経費を補助します。

研究科長のメッセージ



看護学研究科長
牛尾 禮子

姫路大学は、平成29年4月に大学院看護学研究科修士課程を開設いたしました。修士課程（博士前期課程）では、人間に対する深い洞察力や倫理観をもち、看護の理論と科学的な根拠に基づき、人々の生活や看護の場において教育力、指導力、研究能力をもつすぐれた看護実践専門職業人を育成しております。

平成31年4月から、続いて博士後期課程を開設いたしました。博士後期課程では、人間に関する高い学識をもち、人々の健康と生活の質の向上を目指した支援を体系的・科学的に探究し、独創性のある研究を自立して行うことが出来る教育・研究者を育成します。また、博士前期課程と後期課程との統合と発展を図り、専門分野の継続性を重視し、あらゆる人々の健康、生活、権利に関連の深い内容に注目した研究に取り組みます。すなわち、人々のQOLの向上を実現するための援助方法の開発を目指します。さらに、看護教育・研究の発展に尽力できる人材を育成いたします。